

地震

台風や大雨はある程度季節が限られ、天気予報などからも予想できますが、地震は何の前ぶれもなく、一瞬にあらゆるものを破壊してしまいます。いつどこで地震にあってもいいよう、普段から地震に対する心がまえをしておくことも大切です。市は、地震の時の避難場所を地区ごとに決めてあります。家族で地震対策を一度話し合ってはいかがですか。

万々に備えて対策を

あわてて外へ出ないで 避難は本震が 終わってから

ミグラグラグラ、と何の前ぶれもなく起る地震。被害を最少限にいとめるには、やはり普段から地震に対する心がまえをしておくことです。

地震によつて起る被害や避難場所、避難するときの注意などをまとめましたので参考にしてください。

■地震の発生と揺れ

地震は地かく変動や火山活動などによつて起ります。地震には本震（大揺れ）と余震があり、本震は1~2分で終わりますが、余震は2日間も続くことがあります。

■地震の被害

地震動による家屋の倒壊、地面に亀裂や隆起が生じます。また、海岸では津波の心配があります。津波の前兆として海鳴りや異常な引き潮が起り、震源が近いと数分で津波の高波が押しよせてくる場合があります。しかし、津波は第1波より第2波、第3波の方が大きく危険です。押し波、引き波の規模が数100に及ぶこともあります。

■すばやく火の始末

石油ストーブやガス器具などは消し忘れないように、特にプロパンガスのボンベや都市ガスは元センを締めることで

す。消し忘れが火元になつて大火を起こすのも地震の特色といえます。

■避難時の心がまえ

あわてて外にとび出さないで、ヘルメットや座布団で頭を守り、本震が終わってから避難をはじめます。自動車やバイクの避難は事故や混乱のもとですから、絶対にやめましょう。こんな時こそみんなの協力が大切です。

■非常持出品

非常持出品は最小限にしたいものです。食料、衣類、貴重品などふだんから持出し袋に入れて、いつでも持出せるようにしておきましょう。

震度6で家屋の 倒壊が

地震の大きさは、マグニチュードや震度によつて現わしています。地震計に記録されても人体に感じない程度から、立っていることもできないほどの揺れまで、次のように分けることができます。

- ・震度1=マグニチュード5.4(微震) 止まっている人や地震に注意深い人だけに感じる。
- ・震度2=マグニチュード5.9(軽震) 大勢の人が感じ、戸障子がわずかに動くのがわかる。

- ・震度3=マグニチュード6.4(弱震) 家屋が揺れ、戸障子がガタガタ動き、器内の水面の動くのがわかる。
- ・震度4=マグニチュード6.9(中震) 家屋の揺れが激しく、すわりの悪い花びんなどが倒れ、歩行者にも感じる。
- ・震度5=マグニチュード7.4(強震) 壁に割目が入り、墓石などが倒れる。
- ・震度6=マグニチュード7.9(裂震) 家屋の倒壊は30%以下で、地割れができ多くの人は立っていることもできない
- ・震度7=マグニチュード8.4(激震) 家屋の倒壊は30%以上におよび、山くずれ、地割れ、断層などができる。

—指定避難場所—

市の指定避難場所は、37カ所にあります。建物の中は危険ですから学校などの運動場がとられてあります。最寄りの避難場所を覚えてください。なお、市の指定避難場所は次のとおりです。

- 吉原 吉原小学校
- 伝法 伝法小学校・吉原第1中学校
- 今泉 今泉小学校・吉原第2中学校・
県立吉原高等学校・広見小学校
神戸小学校
- 原田 原田小学校
- 吉永 吉永第1小学校・東中学校・吉原第3中学校・吉原商業高等学校・昭和幼稚園・吉永第2小学校・吉永第2小学校勢子辻分校
- 須津 須津小学校・須津中学校
- 浮島 東小学校
- 元吉原 元吉原小学校・元吉原中学校
- 大淵 大淵第1小学校・大淵第2小学校
大淵中学校
- 富士 富士第1小学校・富士第2小学校
富士中学校・富士南中学校・
県立富士高等学校・富士見高等学校
- 岩松 岩松小学校・岩松中学校
- 田子浦 田子浦小学校・田子浦中学校・
田子浦幼稚園
- 鷹岡 鷹岡小学校・鷹岡中学校

